

訪日外国人数は過去最高。旅行消費額、一人当たり支出も増加。

- 29年第4四半期の訪日外国人旅行消費額は、前年同期比プラス27.8%の1兆1,400億円。
- 訪日外国人旅行者数は、同プラス23.6%の750万人と、過去最高の数値。
- 1人当たり旅行支出額は同プラス3.4%の15万2,119円と2期連続の上昇。

	訪日外国人旅行者数		一人当たりの旅行支出額		旅行消費額	
	(千人)	前年(同期)比(%)	(円)	前年(同期)比(%)	(億円)	前年(同期)比(%)
平成28年	24,039	21.8	155,896	-11.5	37,476	7.8
29年	28,691	19.4	153,921	-1.3	44,161	17.8
28年Ⅳ期	6,062	15.5	147,174	-12.2	8,922	1.3
29年Ⅰ期	6,537	13.6	148,070	-8.5	9,679	4.0
29年Ⅱ期	7,220	21.1	149,249	-6.7	10,776	13.0
29年Ⅲ期	7,439	18.8	165,412	6.6	12,305	26.6
29年Ⅳ期	7,494	23.6	152,119	3.4	11,400	27.8

(資料) 訪日外国人消費動向調査 (観光庁)、訪日外客数 (日本政府観光局)

地域別の訪日外国人人数及び旅行消費額の変化

- 訪日外国人消費について「アジア」及び「欧米」として地域別にみると、全体の訪日外国人旅行者数に占めるアジアの割合は、22年は72.1%、29年は81.1%と拡大。一方、欧米の割合は、22年は16.2%、29年は8.8%と縮小している。
- 一人当たり旅行支出額は、22年、29年ともに、全国籍の支出額と比較して、アジアが低く、欧米が高い。
- 旅行消費額を見ると、全体に占めるアジアの割合は、22年は63.0%、29年は76.9%と拡大。一方、欧米の割合は縮小し、29年は10.9%と1割程度。

	訪日外国人旅行者数（千人）		一人当たりの旅行支出額（円）		旅行消費額（億円）	
	平成22年	29年	平成22年	29年	平成22年	29年
全国籍	8,611	28,691	133,766	153,921	11,519	44,161
アジア	6,207	23,257	116,916	145,994	7,257	33,953
欧米	1,391	2,533	166,106	189,604	2,311	4,802

（資料）訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）

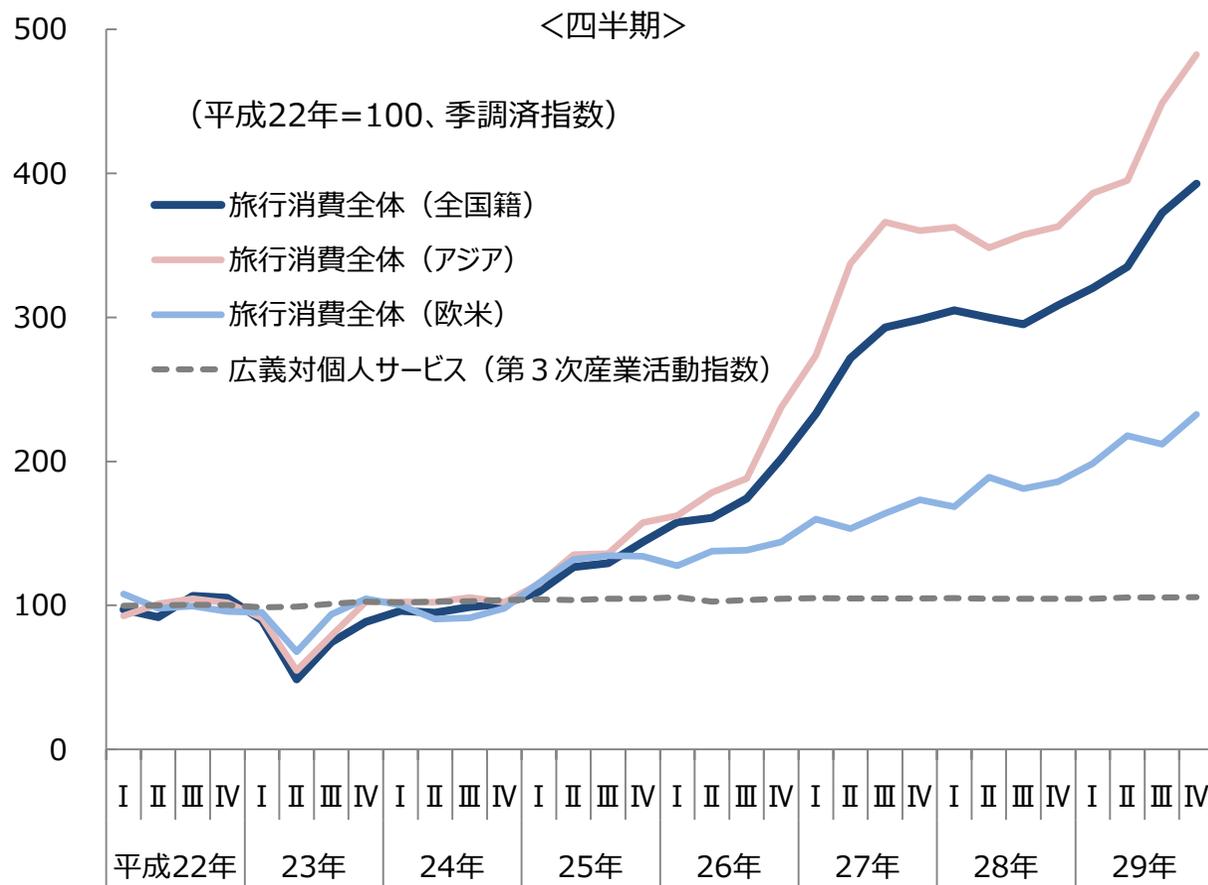
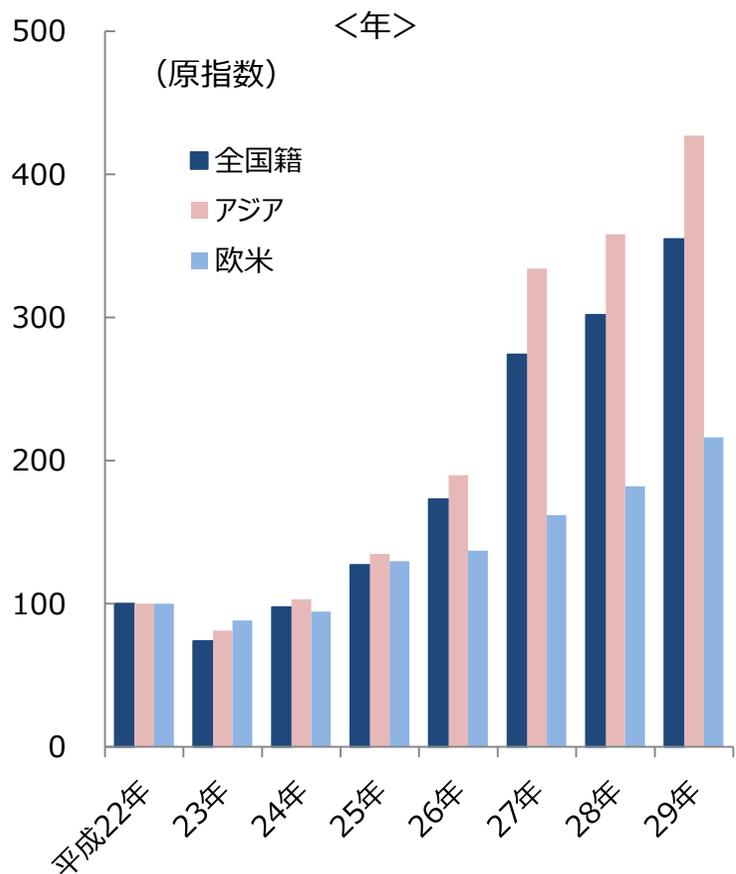
※地域分類は、国別指数の作成可能な国を訪日外客数の地域分類を参考に作成。

各地域の一人当たり旅行支出額は、訪日外国人旅行者数で加重平均して作成。

アジア：韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インド　　欧米：英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ

平成29年第4四半期の訪日外国人消費指数は好調を維持

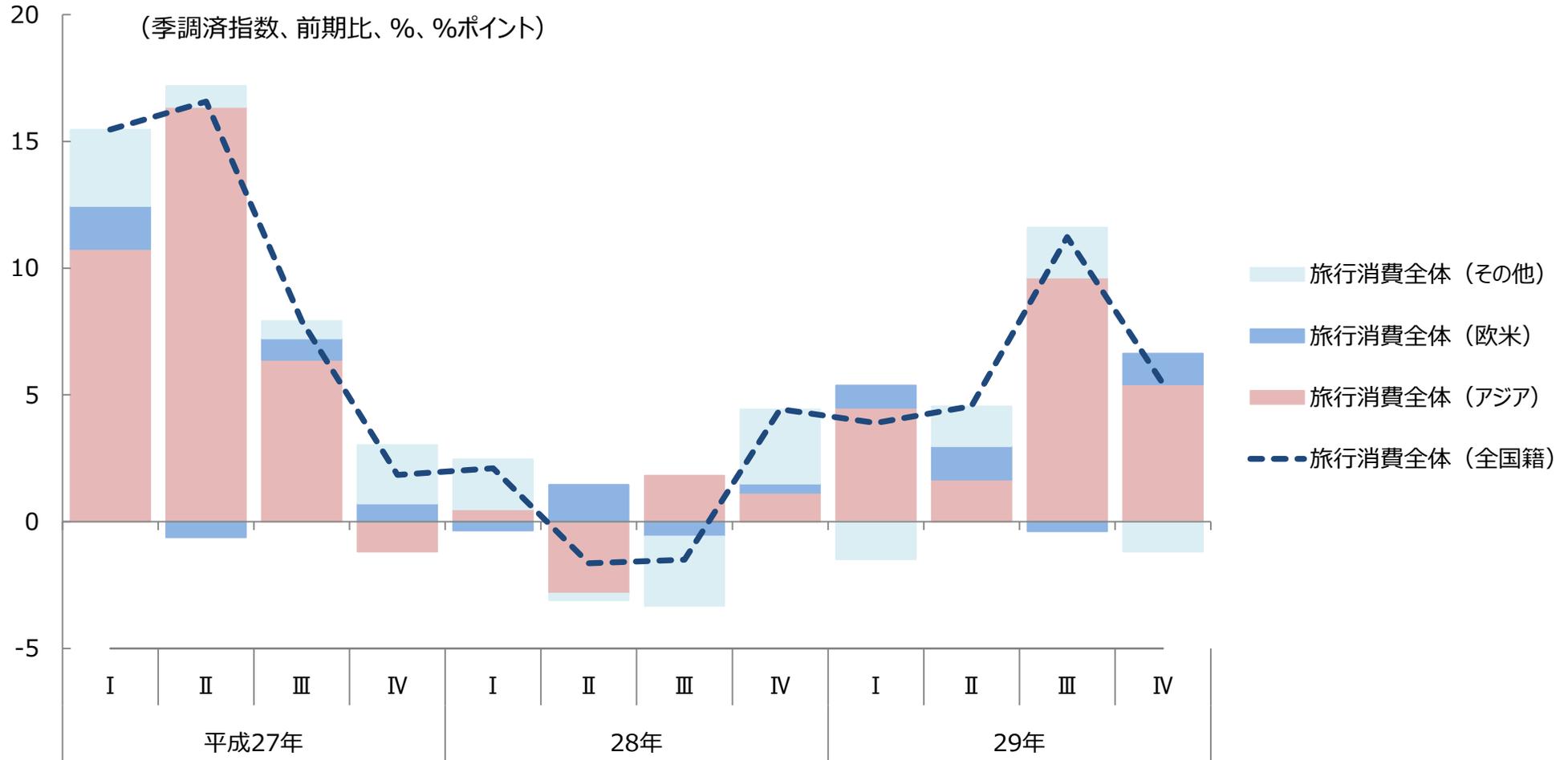
- 29年第4四半期の訪日外国人消費指数は、指数値392.9、前期比5.4%と5期連続の上昇。
- アジアは指数値482.6、同7.5%と6期連続の上昇。欧米は指数値232.8、同9.8%と2期ぶりの上昇。



(資料) 訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

平成27年以降の訪日外国人消費指数の寄与（アジア、欧米）

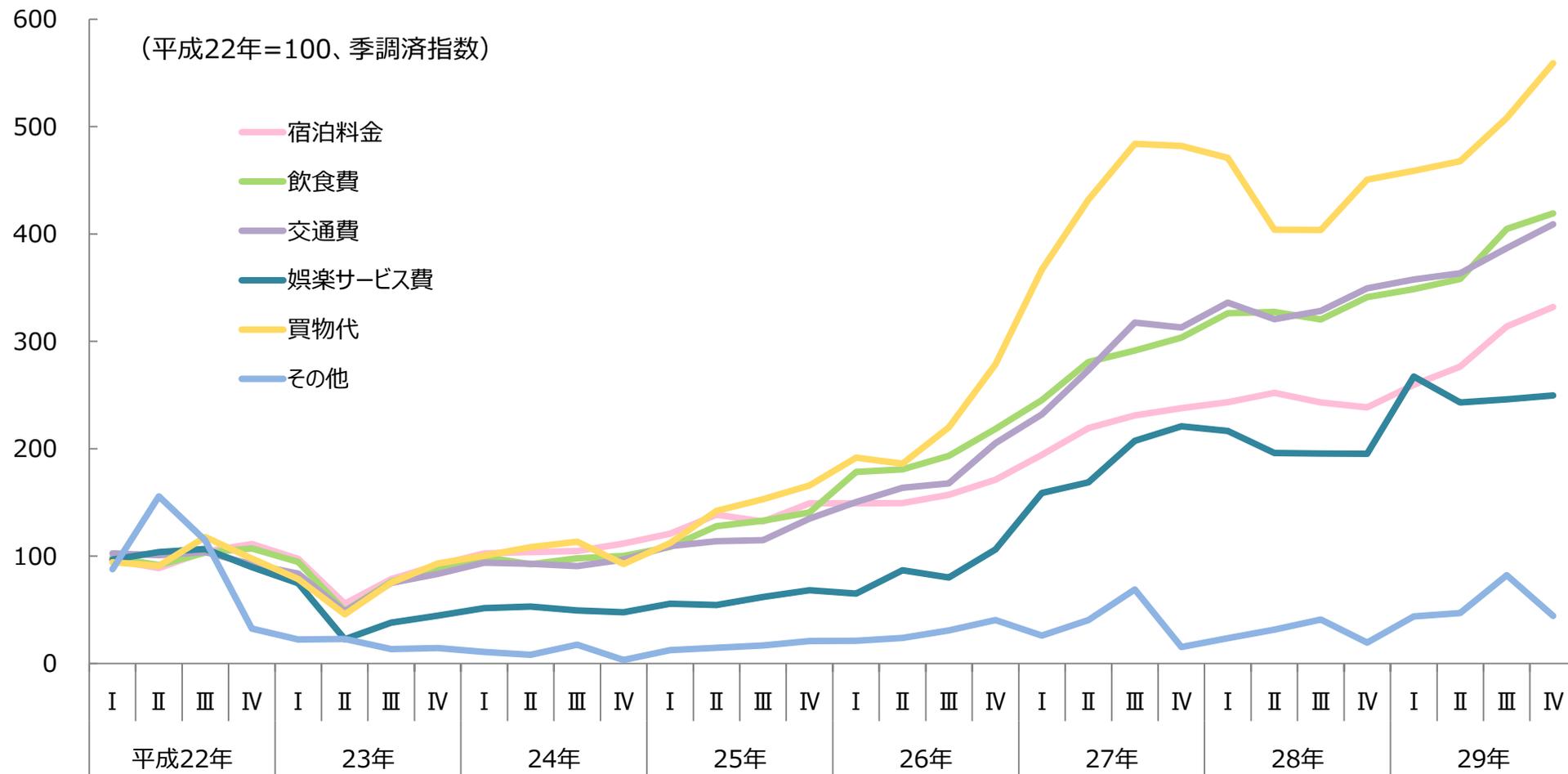
- 訪日外国人全体の旅行消費指数の変動に対するアジア指数及び欧米指数の貢献度（寄与）をみると、29年第4四半期は、訪日外国人全体の前期比5.4%上昇に対し、アジア指数はプラス5.44%ポイントの上昇寄与、欧米指数はプラス1.22%ポイントの上昇寄与。



(資料) 訪日外国人消費指数：訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）などを用いて試算。

費目別にみた訪日外国人消費指数の推移

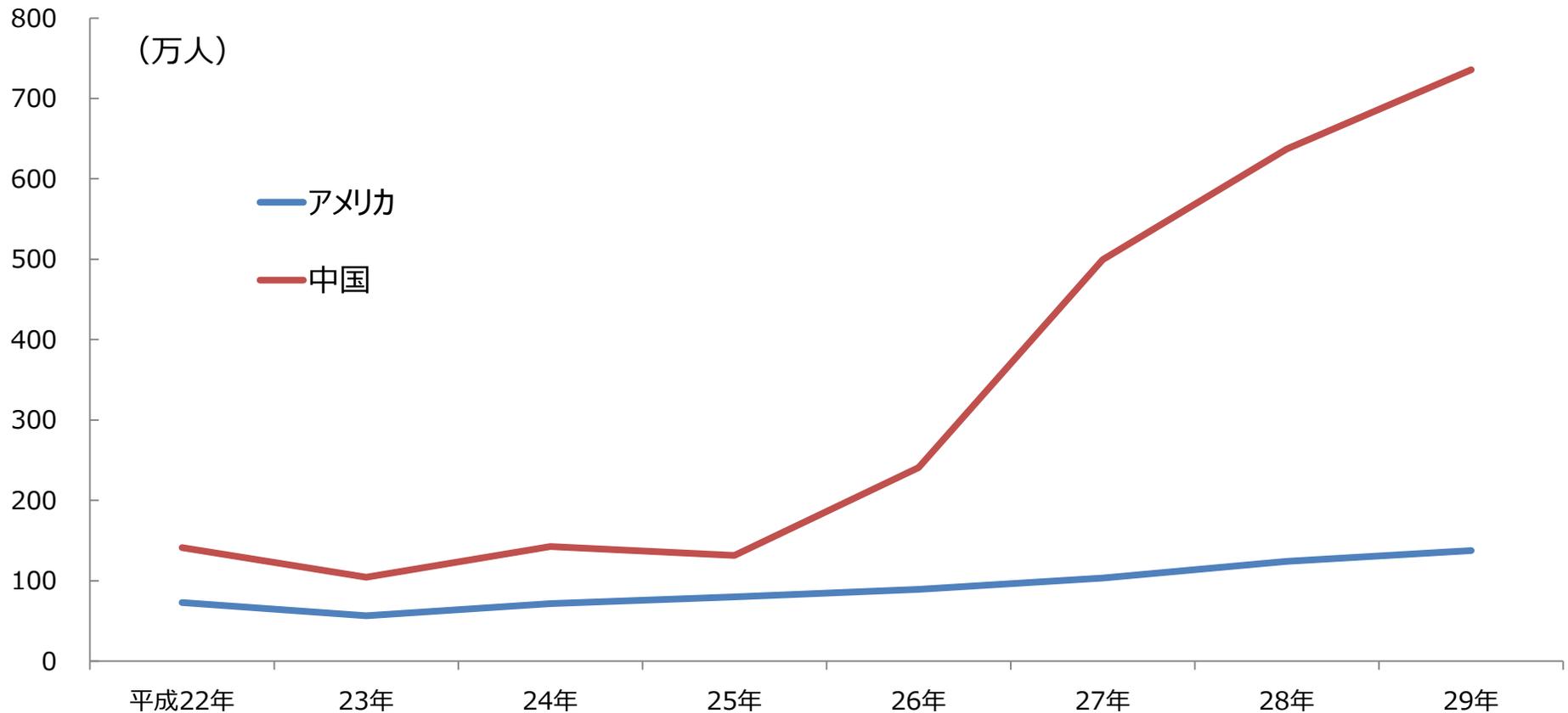
- 29年第4四半期の費目別指数の動きをみると、「その他」以外の費目が前期比上昇。
- 買物代は指数値559.2と、当期も過去最高値を更新。



(資料) 訪日外国人消費動向調査(観光庁)、訪日外客数(日本政府観光局)、消費者物価指数(総務省)などを用いて試算。

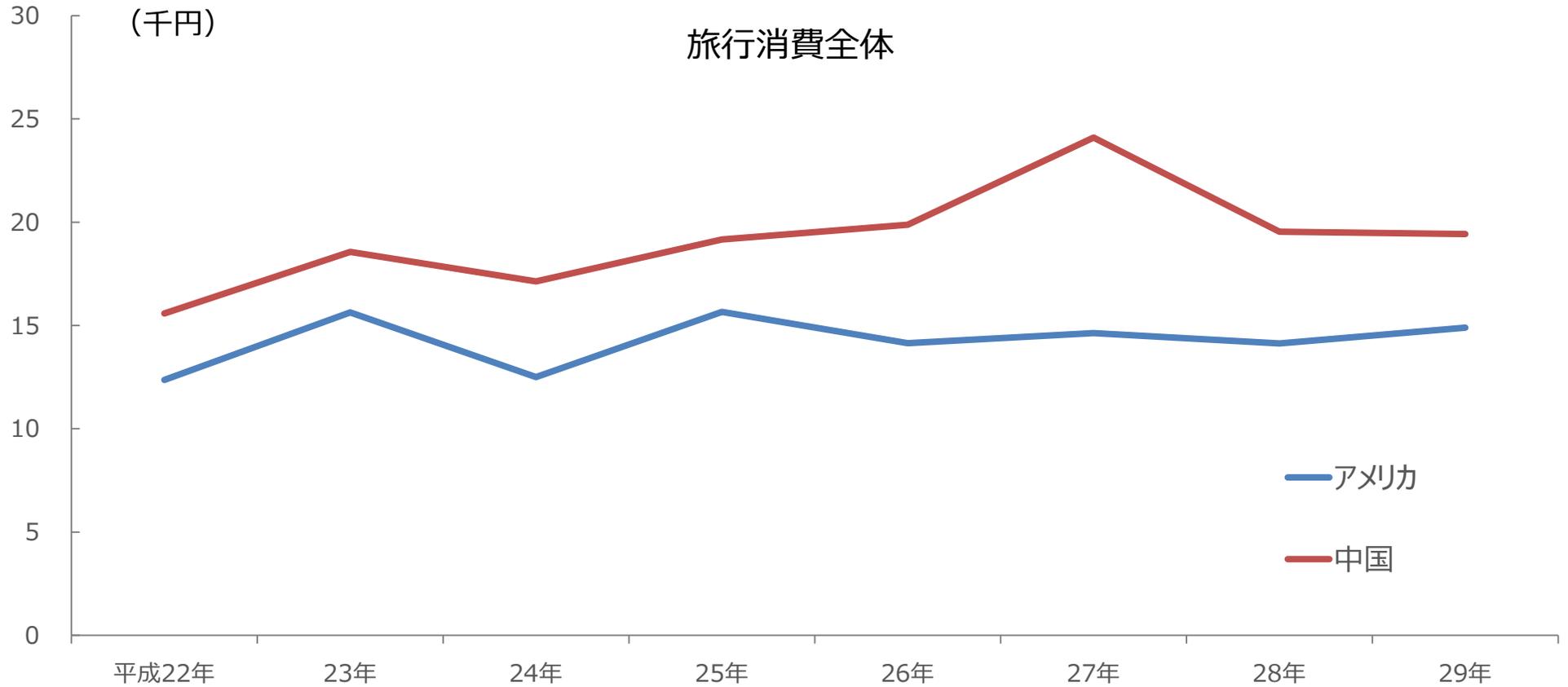
訪日外客数の推移（中国・アメリカ比較）

- 29年の訪日外客数をみると、中国は736万人、アメリカは137万人。
- 22年（基準年）と比較すると、中国は5倍を超えて急拡大しているのに対し、アメリカは2倍にも満たない。



1人当たり旅行消費額（中国・アメリカ比較）

- 中国及びアメリカの1人当たり旅行消費額※を比較すると、いずれの時点も中国がアメリカを上回っている。
- 中国は27年をピークに低下、アメリカは25年をピークに横ばい傾向にあるが、ともに、22年（基準年）と比較すると29年は上昇している。

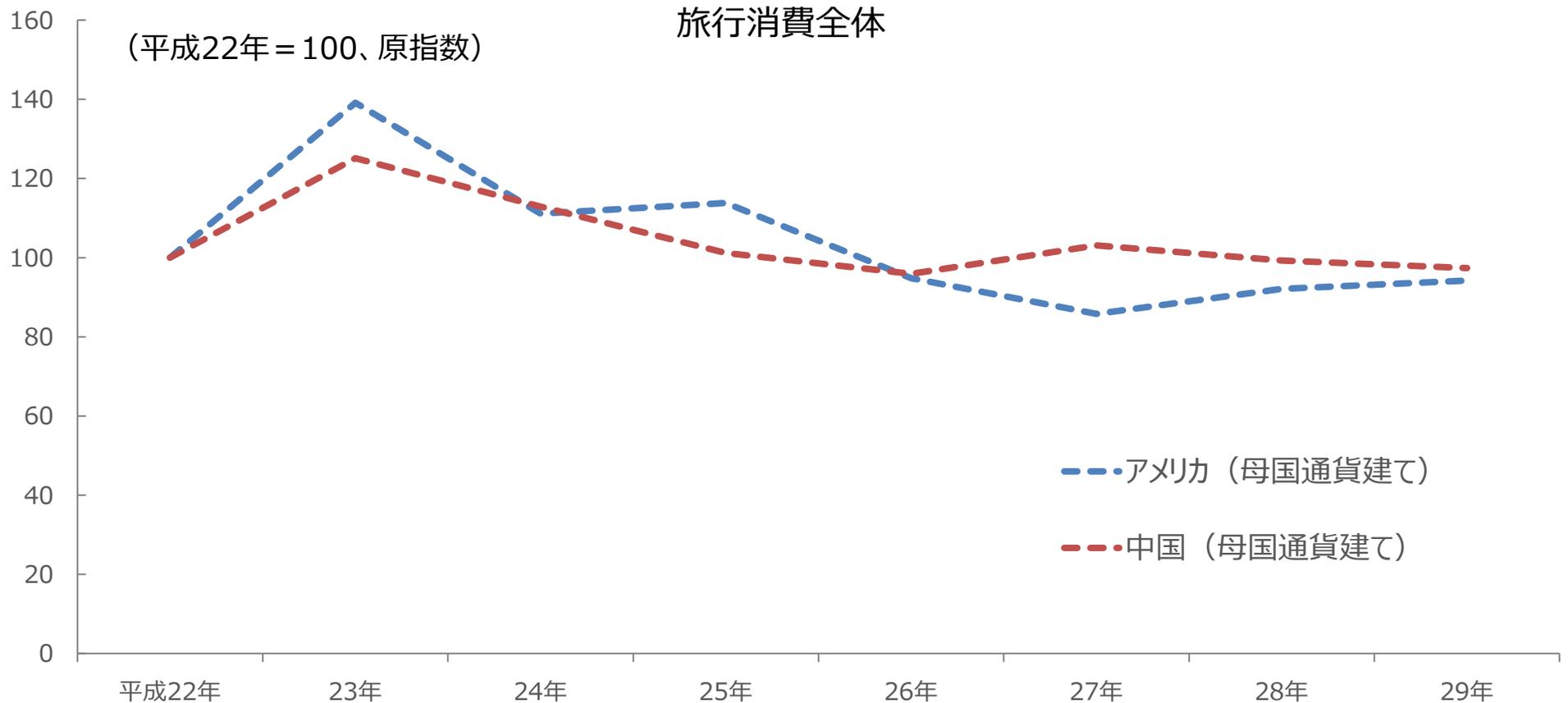


(資料) 訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）を用いて試算。

※ 1人当たり旅行消費額を、消費者物価指数を用いて実質化。

1人当たり旅行消費額（中国・アメリカ比較）母国通貨建て

- 中国及びアメリカの1人当たり旅行消費額を、為替情報を用いて各国通貨価値に換算して比較。
- 中国、アメリカともに23年をピークに低下。ここ数年は横ばい傾向にあるが、ともに、22年（基準年）と比較すると29年は低下している。

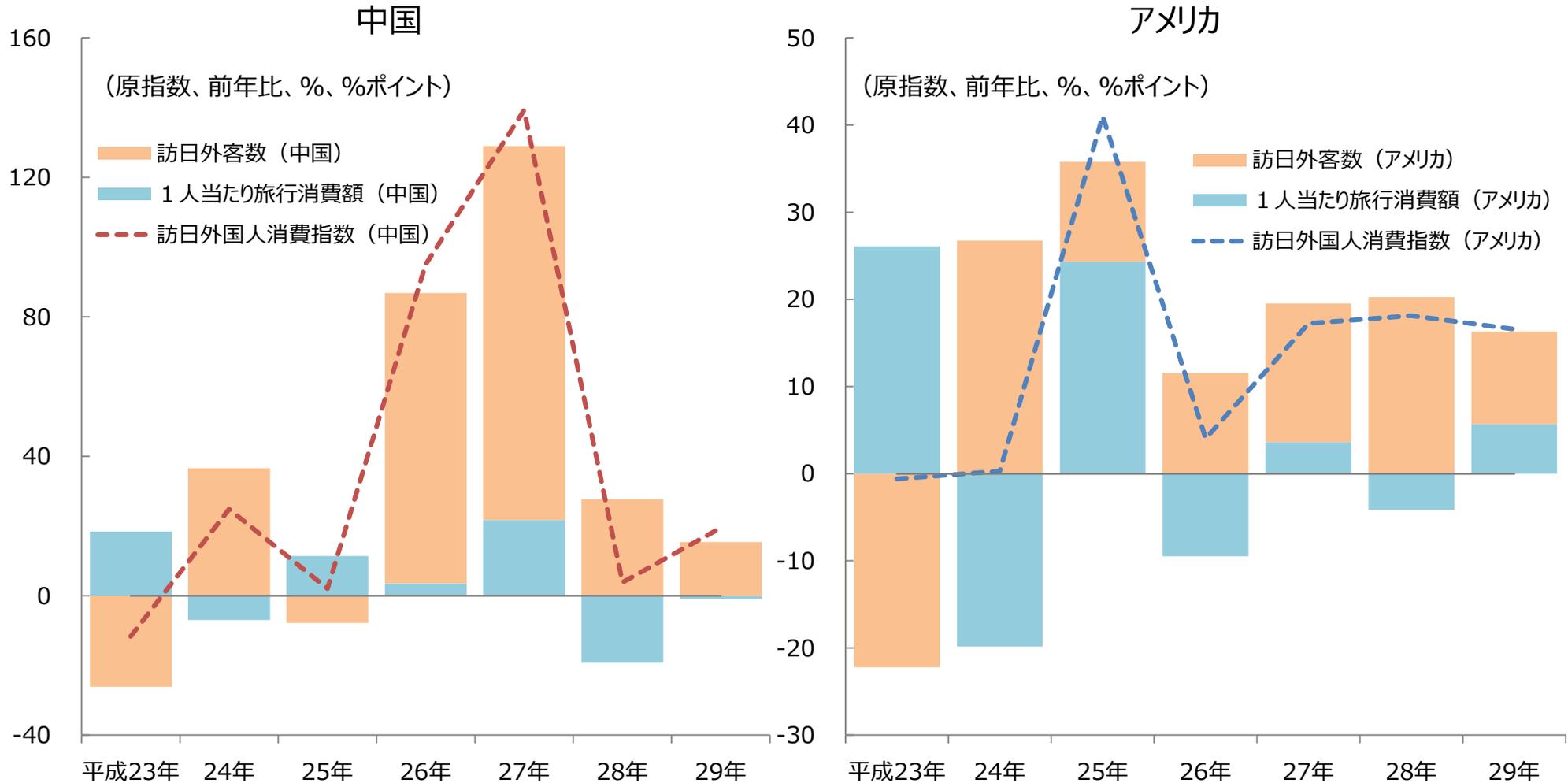


(資料) 訪日外国人消費動向調査（観光庁）、訪日外客数（日本政府観光局）、消費者物価指数（総務省）、為替情報（OECD）を用いて試算。

※ 1人当たり旅行消費額を、消費者物価指数を用いて実質化し、為替情報により各国通貨価値に換算。

1人当たり旅行消費額 及び 訪日外客数の推移（中国・アメリカ比較）

- 訪日外国人消費指数の前年比に対する、1人当たり旅行消費額 及び 訪日外客数の寄与をみると、中国、アメリカともに、訪日外客数の寄与が圧倒的に大きい。



(資料) 訪日外国人消費動向調査 (観光庁)、訪日外客数 (日本政府観光局)、消費者物価指数 (総務省) を用いて試算。